



発行所 秋田県北秋田郡 合川町役場 編集責任者 佐藤一郎 (合川町役場総務課) TEL合川4番 (1回発行部数2,500) 定価 1部 5円

運動あけすけ年末

満場わき立つ熱演

NHKのど自慢大会おわる

町の共同募金会では去る十四日午後一時から「歳末たすけあい運動」として、東中学校を会場に「NHKのど自慢大会」を開催したが、盛況のうちにも多大の成果をおさめて閉会した。

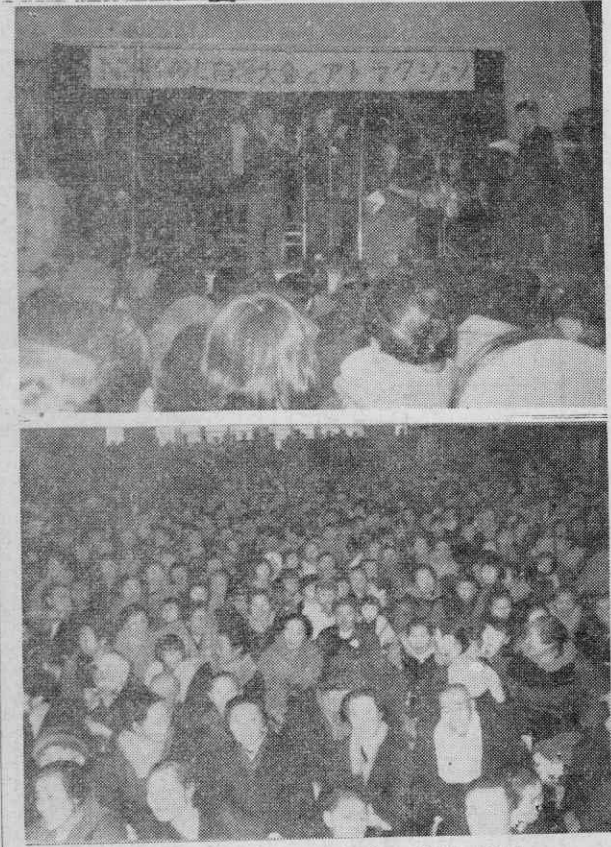
当日は午後一時からの開演にもかかわらず、町内はもろもろのこと、他町村からの観衆も続々と会場に詰めかけ、開演のころには満場に入りきれない観衆は窓にブラ下つて耳を傾ける有様で、近來には珍しい人出となり、二千四百五人ぐらいとみられている。

鐘を三つ鳴らして満場の喝采をあげるものあり、いづくのぼせ気味で実力を出し切れず鐘一つでマイクの音をスゴスゴと去るものありといつた悲喜交々の情景を展開しながら、出演者七十一人の熱演は約二時間及び、終つてからはNHK専属歌手によるアトラクションが行われ、歌謡曲民謡の数々に満場をわきたたせ、アンコールに応じてNHK側でもとくに出演回数が増加して観衆の声援に応えるなど、拍手の嵐の中に午後四時熱演の幕を閉じた。

なお当日の合格者(鐘三点及び二点)は次の通りであった。

△三点(八名)
鈴木 豊吉(民謡) 森吉町
中村 司(同) 十和田町
柴田 運治(歌謡曲)能代市
伊東喜代美(民謡) 阿仁町
成田 昭治(歌謡曲) 李岱
中村 圭二(民謡) 十和田町

△二点(二二名)
渡部 勉(歌謡曲)八郎湯町春日
亀山 広治(民謡)比内町志渡
大高由太郎(同)阿仁町細川
鈴木 金男(民謡)上阿仁佐藤
与助(同)八幡岱金田
柴田 幸助(ものまね)摩当
杉浦喜久郎(歌謡曲)田代町杉淵
柳谷 光雄(民謡)鷹巣町
三浦 光雄(同)鷹巣町
三浦 光雄(同)鷹巣町
三浦 光雄(同)鷹巣町
三浦 光雄(同)鷹巣町



【人々の会場と……舞台の熱演ぶり】

来年もお正月は新暦で!!

古い慣例を改めるには勇気が必要です。一人一人が先駆者のつもりで、来年も旧正を廃止しお正月は新暦で行いましょう。

合川町新生活運動推進協議会
合川町公民館

町内各校の冬休み

町内各小中学校ではこのほど本年度の冬休みを次の通りきめた。

△東小中学校
自十二月二十八日
至一月二十三日

△西小中学校
自十二月二十六日
至一月二十一日

△南小中学校
自十二月二十九日
至一月三十一日

△北小中学校
自十二月二十九日
至一月二十四日

△東中学校
自十二月二十九日
至一月二十四日

△西中学校
自十二月二十六日
至一月二十一日

△南中学校
自十二月二十六日
至一月二十一日

営林署

新電話番号さまる

七座営林署は去る十五日から移転を開始し、十八日(同)森吉町どその電話番号が次のとおり

△東中学校
自十二月二十九日
至一月二十四日

△西中学校
自十二月二十六日
至一月二十一日

△南中学校
自十二月二十六日
至一月二十一日

町政メモ

11月20日 職員研修会
12月1日 町教育委員会
22日 教育委員会
23日 水防資料調査
24日 南地区婦人大会
25日 司法保護司会
26日 民生委員会
28日 議会
28日 議会
28日 議会

前年比二四名の増加

新入児童数とまる

町教育委員会は明年四月、町内各小中学校に入学する児童の学令簿調製を行なうが、このほど結果が次のようにまとまった。校へ通学する児童が多いから、それによると明年度の新たな入児童数は三二五名で、三十三年度に比し男一六、女八名が増加していることとわかった。各校別にみると東、西、北の三校が三名

○東小中学校
男五一(四五)
女三九(四二)
計九〇(八七)

○西小中学校
男三九(四〇)
女五六(四〇)
計九五(八〇)

○南小中学校
男三四(二六)
女二七(三七)
計六一(六三)

○北小中学校
男三五(三二)
女三四(二九)
計六九(六一)

合計
男一五九(一四三)
女一五六(一四八)
計三二五(三二九)

杉山田橋の架替など

三工事の入札おわる

町では去る十六日土木委員会を開き、杉山田橋の架替、町道大内沢線の災害復旧、木戸石下横町線の側溝改良の三工事について協議し、入札を行なった結果次のとおり落札した。

△大内沢線災害復旧
延長 五三・〇米
幅員 三・五米
請負金額 三二一、〇〇〇円

△下横町線側溝改良
延長 二八三・五米
幅員 〇・三米
請負金額 三〇〇、〇〇〇円

二等陸海空士

自衛官を募集

防衛庁では唯今年度限り、自衛官を募集する。右の期間中でも、なお、右の期間中でも、とくにお急ぎの用件(出生、死亡など)は日直者にお言付け下さい。

自衛官を募集
自十二月二十九日
至明年一月四日

海外移住のしおり

移住者特に二、三男のために

六千名もの組合員を有して支弁し、本人負担は約一百万円にわたる。既に三十九年にわたって千五百名の単身青年を送り出した。これは日本海外協会の継続については目下折衝中であり、再開の見通しは、将来はやがて必要となる。希望する者に対し、三ヶ月間の移住教育を実施して呼び寄せ移住の方法をブラジルに移住させる方法です。

資格は満十八才以上二十才未満の男子単身青年、満十八才以上二十五才未満の心身ともに健全な農家。但し事情によつては三十才以下の三男で、身長一・五メートル、体重五〇キログラム以上、胸囲七五センチ以上の者と同様ですが、移住教育者、雇用年限は四か年で食料を必要とするとして約五万円を必要とします。

移住後の援助は、現地に到着してからは官民の資本による海外移住振興株式会社から土地購入資金の貸付、東山農機はサンパウロに営農に必要な農機具購入資金の貸付、既に三〇年に営農に必要の他営農上必要な資金の貸付が受けられます。(以下次号へ)

契約雇傭移住の特色

たる人物を養成するため、研修生として採用されます。働き手が多いため資本が少なく、家族の場合この「契約雇傭」は非常に良い方法で、雇傭期間中の生活は保証されて安定性があります。したがってこの期間中に、給与は月額約一万九千円程度(食費は別)で、都市以外の農場の場合若干等々を充分に習得して独立への基礎を固めて契約期間が満了と同時に独立する方針で、募集人員は商業、工業、農業の各実習生として中南米諸国を合計して三〇名程度が考査の上決定されます。

資格と条件
新制農、工、商の高等学校卒業以上の学歴を有するもの、心身ともに健全で受入国に永住の意思を有する者、年齢は三十歳未満であること、サンパウロ州コチア郡に三十一日現在で満十八才以上ある南米最大のコチア産業上二十五才未満であること、諸経費のうち、船費、研修費、支度料等は外務省が負担する。

後々の二等陸海空士自衛官を募集

次の要領で募集中です。

一、応募資格
十八才以上二十五才(昭和九年三月二日から同十六年三月一日までの間に生れたもの)で、中学校卒業程度の学力ある男子。

二、受付期間
昭和三十四年一月十四日まで。

三、その他
くわしいことは役場総務課へお問合せ下さい。

△役場の年末年始
役場の年末年始の休みは次のとおりであります。
自十二月二十九日
至明年一月四日

